

8年度 ファミリーホーム協議会 定時総会 & 第1回運営会議が開催されました！

6月23日(火)、東京品川駅近くの会場で定時総会及び第1回運営会議が開催されました。初めて総会に参加をしてくださった会員さんや全国各地からの参加がありました。

● 総会の様子

1号・2号会員 421名中、出席および議決権の行使224名で総会が成立

・ 北川会長挨拶

みなさん、こんにちは。総会に全国からたくさんの方が北は北海道、南は沖縄まで来ていただいてありがとうございます。1年間、様々な活動をしてまいりました。国の方ではケアニーズの専門委員会が開かれています。里親制度を変えて行くという流れがあります。これまでの里親、職業里親、FHはどのようにあるべきか、午前中に要望書を提出してきてそのような話もしてきました。

私達は子どもたちを家庭で保護するという、社会的に重要な役割を果たしていると思います。役割を果たしているのにも関わらず、運営体制・支援体制が不十分ですので、子どもを中心にどのように充実させていくか、一番に考えていかなければならないところだと思います。子どもまんなか委員会も立ち上がっております。子どもの意見を聴きながら子ども家庭庁でも言ってきましたが、FHは質

の高い、こどもの権利を守るホームにならないといけないということで、社会の中でしっかりと役割をみなさんと一緒に手をつないで果たしていきたいと思えます。まずは今年1年間振り返って、1年間未来を見ていきましょう。良い総会になるようみなさんご協力よろしくお願いいたします。

・ 決議事項

第1号議案 2025 年度事業報告の件

第2号議案 2025 年度決算報告の件

第3号議案 2025 年度監査報告の件

第4号議案 2026 年度事業計画(案)の件

第5号議案 2026 年度予算(案)の件



すべてが承認されました。

・ 報告事項 報告者:北川 りんごちゃんの実践から

「日本財団助成金事業」乳幼児ファミリーホームモデル構築事業について

始めたときは赤ちゃんのアタッチメントを何よりも大事にしていました。実際始めて見ると「移行」も非常に大きな柱になっています。特別養子縁組を前提とした赤ちゃん、良い里親さんを探し、ホームに来てもらい、良い感じだったら特別養子縁組を前提とした養育里親になってもらう方が2人居ました。何回も何回も来てもらいました。磯野尾先生という先生が、2か月過ぎた後の分離っていうのは、非常に赤ちゃんは表現できないけど、先生の言葉を借りるなら「半殺し状態」だとおっしゃっていました。洗剤が同じ、同じミルクを使う、服も同じ服を持って帰って



もらうとか、お家にも遊びに行ったり、お泊りをしたり、そこは丁寧に丁寧に言葉の無い赤ちゃんだからこそ、移行していかないといけないことに気づきました。

アタッチメントの先生から「喪失と回復」をもっと勉強していこうと思っているところです。実親さんのもとへ帰った赤ちゃんも居ますし、「特別養子縁組は難しい」とお母さんがなった場合、里親さんが引き取ったケースもあります。分離を考えたときに、近くの里親さんに引き取ってもらうとか、いろんな工夫をしながら分離が不安にならないように、いつも家に遊びに行ったりして、移行というものをしています。赤ちゃんにとってアタッチメント形成をして、分離して回復して、非常に大事なところだと思います。小さなホームだからこそ丁寧にやっていきたいと思います。

● 運営会議の意見交換の様子

①新しい方に入会していただくため三つ折りのパンフレットが必要ではないか？

→作成していく予定。

②協議会に加入していないホームは保険をどのようにしているのか？

→自治体によって保険代を出してくれたり、児相が保険に入っている。法人型FHの場合、法人の保険との重複がある。

③47都道府県でFH会員が一番多いのは大阪府の33ホーム。

④沖縄 FH を立ち上げ前の方も定例会に参加していただき、入会の案内をしている。 → 沖縄県は全ホーム加入。

